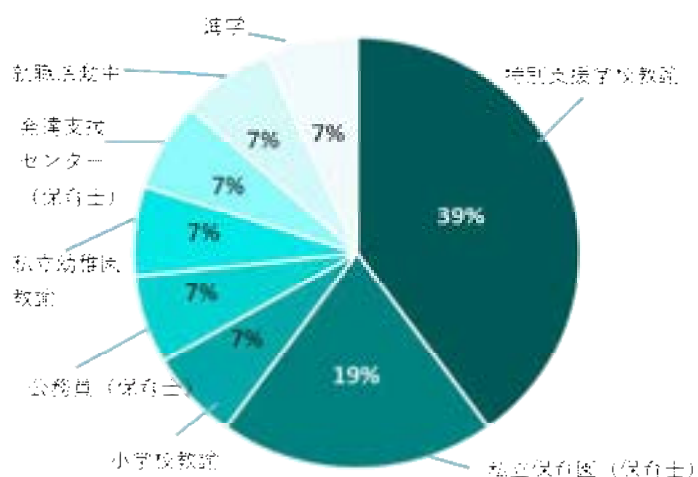


令和7年度実施 発達教育学部 令和6年度卒業生アンケート結果

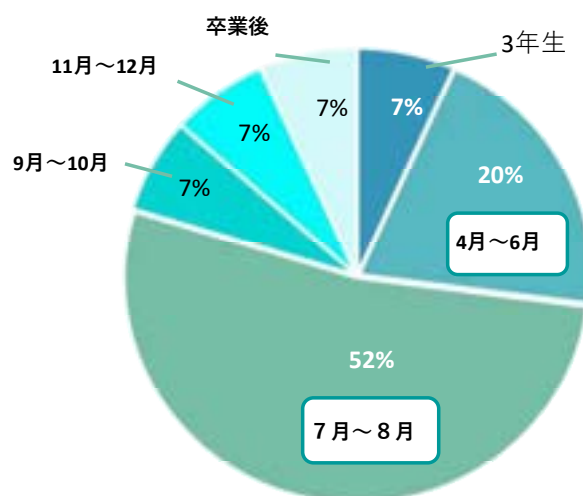
令和6年度卒業生81名へ実施。回答数15件（回答率19%）

質問1. 現在の勤務先での職種についてお答えください。



小学校教諭	特別支援学校教諭	公務員（行政職）	公務員（幼稚園）	公務員（保育士）	私立幼稚園の教諭
1	6	0	0	1	1
私立保育園の保育士	保育教諭	就職活動中	進学		
3	1	1	1		

質問2. 就職試験の時期はいつ頃でしたか？

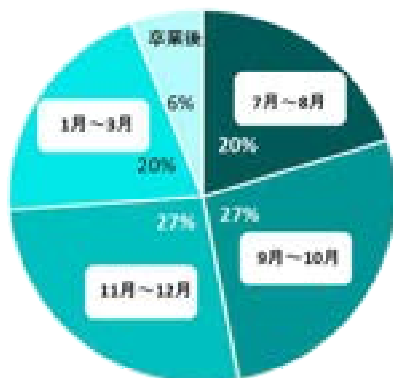


大学3年生	大学4年生の4月～6月	大学4年生の7月～8月	大学4年生の9月～10月	大学4年生の11月～12月	大学4年生の1月～3月	卒業後
1	3	8	1	1	0	1

質問3. 園見学や施設見学にはどのくらい行きましたか？

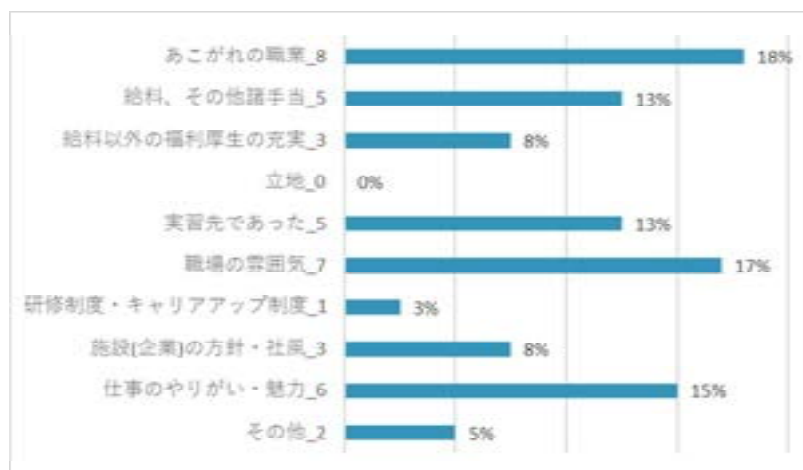
1～3施設	行っていない
5	10
33%	67%

質問4. 内定（内々定）を受けた時期はいつ頃ですか？



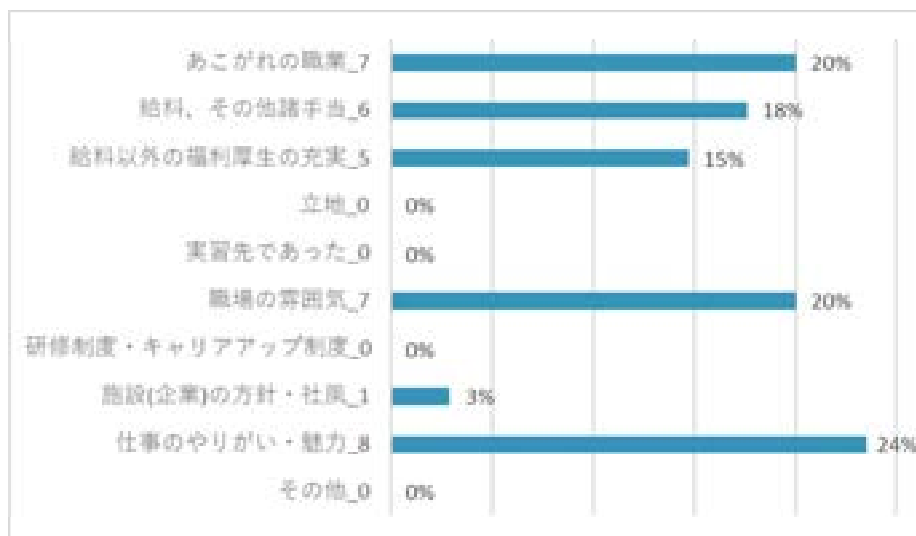
大学4年生の 7月～8月	大学4年生の 9月～10月	大学4年生の 11月～12月	大学4年生の 1月～3月	卒業後
3	4	4	3	1

質問5. 就職先（進学先）を選ぶ際に、最も決め手となった項目を選択してください。
（複数可）



「その他」を選択した方は具体的に記してください。
 ○希望進路の一つがデザイン関係であったため、学び直したかった。
 ○ゼミ担任の先生つながりで知りました。

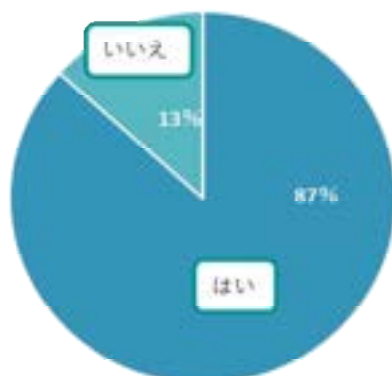
質問6. 現在の進路先を選んでよかったこと、下記の項目からすべて選択してください。



質問7. 現在の勤務先で嬉しかったことは何でしたか？差し支えない程度でお答えください。

- 子どもが名前を覚えてくれた時・朝部屋に入ると、「せんせー！！」と駆け寄ってくれる時
- 先輩、先生に成長を褒められた時
- 子どもの成長を近くで見られること
- 笑顔、真剣な顔、面白い顔など、いろんな表情を見せてくれるかわいい子どもと学校生活を送れること
- 子どもが名前を覚えてくれたこと
- 心優しい先輩方に出会えたこと
- 子どもに先生と呼ばれること
- 保護者に感謝されること
- 子どもが「先生好き～！」と言ってくれた。
- 小学部1・2年生の担任をしています。1年生が入学当初、慣れない環境に戸惑い泣いたりイライラしたりしていましたが、学校という場所を覚え、徐々に自分でできることが増えてきたことが嬉しかったです。
- 木々に囲まれた立地の静かな環境で、午後に実技訓練を毎日行うため、日々自分の技能が高まるのを感じている。少人数での授業を行うため集中しやすい。

質問8. 大学時代の学びや経験で現在参考になっていることはありますか。



はい	いいえ
13	2

質問9. 質問8で「はい」と答えた方は具体的に記してください。

○大学で作った教材があればあるほど子どもの前に出る時の引き出しが多い。

子どもへの接し方や言葉の掛け方

○知的障害教育Iや教職実践演習で特別支援教育の考え方について学び、子どもたちに「できる状況」を与えることや肯定的に捉えて称賛することを実践しています。

○障害種とその特性

○子どもの発達段階・手遊び

○特別支援教育に関すること

○特別支援教育についての学び、公務員センターでの試験対策、教育実習

○手遊び

○ボランティア勤務中に座学で得た知識を現場で照らし合わせ、その時々での支援方法を考えられるようになった。ハンディのある子どもたちの気持ちに共感し、高校生時分よりも寄り添えるようになった。

○大学で学んだ子どもや保護者の気持ちに寄り添うことの大切さを実感し、もっと子どもや保護者の気持ちに寄り添いたいと思います。

○大学でも「乳幼児や目が見えにくい人でも分かりやすいように、配色や大きさを工夫してものを制作するように」と教わりました。

○ポスターや広告物は、多くの人に伝わりやすく見やすい色使いやデザインを心がけるように学んでいます。デザインと福祉に視覚的な配慮への共通点が見つかり、「この配色は誰にでも見えやすいものか」「この大きさのバランスがベストなのか」と、受け手の目線をより深く考えられるようになりました。

質問10. 大学時代に学んでおけば良かったことや、経験しておけば良かったことがあれば具体的に記してください。（任意）

○4年時の最後の実習先で責任や部分実習を行えばよかったと思う。

○保護者への電話のかけ方やとり方などの話し方

○模擬授業をしっかりとっておけばよかった。

○現場経験を増やす・製作物等について学ぶ。

○自立活動の教材教具について学んでおけばよかった。

○絵本、紙芝居の読み方手遊び

○学校、施設見学、セミナーはできるだけ多く体験するべきだと思った。学校内で、ゼミ担任経由でのお誘いがあったにも関わらず参加しなかった。

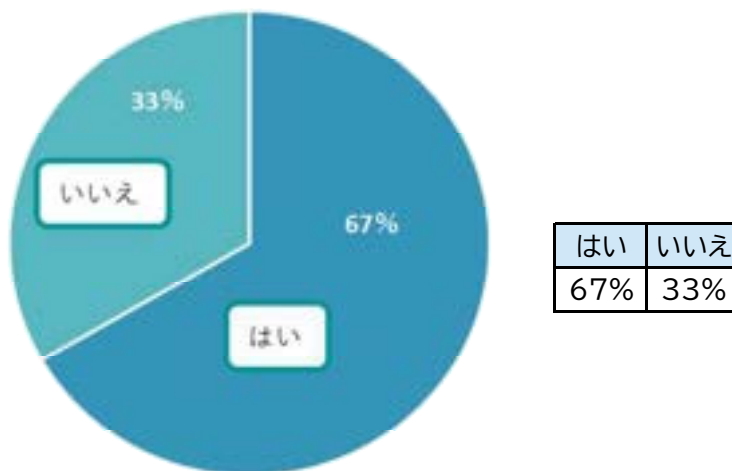
（私自身ハンディがあるため長時間の見学は体に響く）

○一般的な就職活動の方法についてです。大学にいて幼稚園教諭の資格を取ったならば、幼稚園に就職しなければいけないと強く思っていたため、一般的な就職活動の方法を知らないまま過ごしてしまいました。自分の責任ではありますが、企業の選考の時期、説明会の参加時期、エントリーシートの書き方、ガクチ力の書き方、SPIの内容などのイメージが具体的に理解できていません。資格にとらわれず、キャリア支援課の方々に積極的に相談するべきだったと思っています。

質問11. 大学時代のキャリア支援について、良かったこと、もっと支援してほしかったことを記してください。（任意）

- 実際に就職した先輩や就活した先輩の話が聞けて、今後を具体的に想像できました。
- 教授の方がキャリアの授業の中心になっていることが多いため、キャリア支援課の方々のお話を聞ける機会を増やして欲しいです。
- 在学中は、教職公務員支援センターの先生方に徹底的に教員採用試験の対策をしていただきました。合格したいという気持ちと『私ならできる』という前向きな気持ちをもたせてくれました。今、こうして教員として働けているのは、センターの先生方の愛のこもったご指導のおかげです。
- キャリア支援課の方にとってもお世話になりました。初めてお伺いした際、ハローワークちばの専門援助部門に繋がってくださいました。専門援助部門のコーディネーターの方と密に連携をとってくださったこと、とても感謝しています。今後のキャリア支援課における具体的な要望としては、障害のある学生の雇用を検討している・できる福祉施設の情報網を強化していただきたいです。業界・職種柄的に口コミ等でのツテがないと探すことが難しいうえ、福祉業界を目指す障害のある学生が一人で施設探しを行うのは大変難しく感じました。また、大学内での求人に協力してくださる施設や会社に、自分のような、障害があっても持病等の問題から毎日通勤が難しくても、福祉業界への従事を目指す学生がいることを周知していただけたら嬉しいです。

質問12. 今後の目標・キャリアアップの計画はありますか？



質問13. 質問12で「はい」と答えた方は具体的に記してください。

- 自分で子どもを預かる施設を作る事
- 周りに現場で働くようになって新卒～10年目以下の方がおらず、知識や経験不足の差をすごく感じる為、一度保育所や幼稚園などで経験を積んでから今と同じ仕事に就きたいと思っている。
- 同じ職場で働く先生方に「この人なら任せられるな」と思ってもらえるようにまずは頑張っていきます。
- リトミックを学ぶ。
- 放課後子どもルーム等のサービスも学び経験してみたいと考えています。
- 特別支援教諭の資質能力の向上
- 子どもたちがもっと楽しめる且つ学びになる授業を作れるようになりたいです。
- 色彩検定や技能検定などの資格を取得就職後は現場の中で実用的な技能を高めていき、よりよい条件の職場に転職する。

質問14. 植草学園による卒業後の就職支援をしていることはご存じですか。

